

事務事業名	文化芸術団体負担金事務（一般事業）	事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	連絡先	632	

計	政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中						
			基本計画①	01	教育大綱	0303	文化・芸術の振興と推進									
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える									
			実行計画	03	文化芸術推進計画	0104	市民の自主的な活動の推進									
画	予算事業名	一般事業費					会計コード	01	款	10	項	05	目	02	事業	01
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	諏訪美術展・長野県美術展の茅野市教育委員会共催負担金。														
	現状と背景 (どうして)	茅野市教育委員会が文化芸術事業(美術公募展)の共催となり、「文化の香り高いまちづくり」の実現のため、地域の文化芸術振興を推進する。														
	目的	受益者 (誰のために)	諏訪美術展・長野県美術展への出展者及び鑑賞者。													
対象 (直接働きかける)		同上														
L	的意 (どんな状態にしたいか)	文化芸術事業の振興を図るために公募展を共催し多くの市民に興味・関心を持ってもらう。														
	手段・方法 (どうやって)	茅野市教育委員会が諏訪美術展・長野県美術展の共催となり、負担金による支援を行う。														
A	N	評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
				1	美術公募展の開催	美術公募展開催数	回	年間の開催数				2				
				2												
				3												
			変更履歴													
			成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
				1	美術公募展共催申請数	美術公募展共催申請数	件	年間の申請数				2				
				2												
				変更履歴												

実	施	状	内	訳	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度				
					事業費等(a)	円	504,000	103,000							
					国庫支出金	円									
					県支出金	円									
					地方債	円									
					その他特定財源	円									
					一般財源	円	504,000	103,000							
					況	指	活動指標	美術公募展開催数	目標	回	2	2			
									実績		2				
									達成率	%	100.00	-	-	-	
-	目標	-													
	実績	-													
	達成率	%	-	-			-	-							
D	成	果	指	美術公募展共催申請数	目標	件	2	2							
						実績		2							
						達成率	%	100.00	-	-	-				
				-	目標	-									
					実績	-									
					達成率	%	-	-	-	-					
備	考														

事務事業名	文化芸術団体負担金事務(一般事業)	事業期間	~	年度	係内番号	02
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	連絡先	632	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度成果				
	方向性				
	コスト				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 課 長 評 価 日	<p>～成果～</p> <p>変果</p> <p>動指</p> <p>要標</p> <p>因分</p> <p>～析～</p> <p>成果</p> <p>総合評価</p> <p>課題</p>				
	<p>美術公募展は2件実施し、高校生によるギャラリートークを行うなど新たな担い手の育成にも力を入れ、地域の文化力の向上に貢献した。</p> <p>また、今年度は市制施行60周年・美術協会60周年にあたるため、記念事業2件に対し負担金による支援を行った。</p>				
	<p>県展は2,500名、諏訪展は1,050名の入場者があり地域に美術作品に触れる機会を広く提供することができた。</p>				
	<p>共催事業として、多くの市民に出展・鑑賞してもらえるようPR等の協力を行う。</p>				
改革・改善の方向性(ACIT)策	<p>翌年度成果</p> <p>方向性</p> <p>コスト</p> <p>拡充</p> <p>現状維持</p> <p>成果</p> <p>コスト</p> <p>方向性</p> <p>内容</p> <p>策</p>				
	<p>県展・諏訪展は長年諏訪広域6市町村との協力(共催)により実施されてきたことから今後も継続していくことが望ましいが、負担金の額については、毎年精査し、過度とならないよう諏訪美術会と協議していく。</p>				

作成担当者	北原 啓司				
最終評価責任者	藤森 隆				
最終評価年月日	2019年5月17日				